

# 人権コラム 心、豊かに

## ◆ 様々な「出会い」

4月から職場や学校などで新生活が始まり、様々な新しい出会いを経験する人もいないでしょうか。その中には、障がいのある人や外国にルーツを持つ人、セクシュアルマイノリティの人など様々な人権問題に悩んでいる人がいるかもしれません。また、身近に悩んでいる人はいないと思っても、誰にも言えずに一人で苦しんでいる人がいるかもしれません。

人権問題に悩んでいる人と実際に出会ったり相談を受けたりしたとき、どのように接すればよいでしょうか。繊細な問題に立ち入り過ぎてもよくありませんが、距離を取り過ぎて相手を傷つけてしまうこともあります。そこで大切なことは、相手が抱えている問題について知ろうとする意思を持つことです。どのようなことに悩んでいるのかを聞いたり、直接聞きにくい場合は相手が抱えている問題について調べたりして理解を深めることで、良好な関係に近づけることができるのではないのでしょうか。

相手が抱えている問題について調べるといっても、インターネットをはじめ、様々な情報が溢れています。気軽に調べられる反面、中には誤った情報も多く存在しています。誤った情報によって相手を傷つけないようにするためには、情報収集は慎重に行う必要があります。判断に迷ったら、官公庁や同様の問題で悩んでいる人を支援する団体等が発信している情報を調べてみるのも良いかもしれません。

どんな接し方をすれば相手が嫌な思いをしないで済むかは一人ひとり違って、悩んでいることに触れてほしくないと思っている人もいます。しかし、何も知らないことで相手を知らず知らずのうちに傷つけてしまう可能性もあります。どんな問題であっても「自分には関係ない」ということはありません。日頃から様々な問題に関心を持つことで、今後の新生活がより豊かになる良い「出会い」につながるのではないのでしょうか。